

新型コロナウイルス感染症対策 実態調査 2020.09

①

回収数:186枚 (2020.10.10現在) 配布数310部

回収率 60.0%

1 貴施設のリハビリ関連業務の運営方針について

継続して運営した	149	80.5%
休止した	2	1.1%
一部機能のみ休止	30	16.2%
リハビリ業務以外への配置転換	0	0.0%
その他	3	1.6%
未回答	2	

⇒ [「運営方針の変更・工夫」についてのコメント ページ③](#)

2 職員の感染管理で、貴施設で行われていることについて(複数回答)

対策していない	1	0.5%
勤務開始時や終了時に検温・記録	170	91.9%
介入前後手洗い・手指衛生	178	96.2%
常時マスク着用	174	94.1%
感染対策の再周知	165	89.2%
通勤時のマスク着用指示	58	31.4%
時差出勤	16	8.6%
控え室・食堂等の密に対する工夫	121	65.4%
リハ介入方法の変更	47	25.4%
その他	14	

⇒ [「職員・患者の感染管理」についてのコメント ページ④](#)

3 環境設定における工夫は？(複数回答)

実施していない	4	2.2%
患者・利用者ごとの間隔を2m空けている	61	33.0%
使用した物品や使用箇所を消毒する	167	90.3%
ゾーニングを実施する(区別)	41	22.2%
提供時間を区分している	37	20.0%
その他	16	

⇒ [「環境設定の工夫」についてのコメント ページ④](#)

4 マスクの着用について制限は？

制限はない	30	16.2%
制限があった	116	62.7%
個人のものを使用した	70	37.8%

(※制限があったため個人のものを使用したという回答 28)

※(制限ありの場合)制限の枚数

1日1枚	65
1日2枚	0
2日1枚	11
週3枚	2
月15枚	1
週1枚	7
週2枚	6
3日1枚	12

5 会議・研修会、土会事業等への出席禁止の指示はあったか？(複数回答)

指示はない	76	41.1%
施設外の研修会は参加禁止	33	17.8%
院長などの上司の判断で参加可	53	28.6%
WEBでの参加のみ許可	33	17.8%
施設外参加者の施設内研修参加の禁止	19	10.3%
院内の研修のみ実施	16	8.6%
その他	22	

⇒ [「会議、研修会等への参加」についてのコメント ページ⑤](#)

6 実習生の受け入れについて、施設管理者からの指示はあったか？

(※実習生受け入れの無い施設は未回答)

実習の受け入れは可能	43
実習の受け入れは禁止	47
条件付きで可能	45

※(条件付きの場合)可能となる条件は？

ない	0
実習生のPCR検査	1
実習開始から2週間の患者や利用者との接触禁止	8
個人防御具の装着	12
実習生やその家族の感染リスクに関する理解	30
実習期間の短縮	2
マニュアルの整備	14
その他	18

⇒ [「実習生の受け入れ」についてのコメント ページ⑤](#)

#1. 「運営方針の変更・工夫」 についてのコメント

- ・ 入院患者と外来患者と同室でのリハ中止
- ・ 利用者定員を削減した
- ・ 訓練中止期間は休暇とし出勤者数を調整
- ・ 外来患者の縮小制限、外来業務のみ休止
- ・ 外来リハビリの制限、一時休止
- ・ 外来を曜日指定し制限した
- ・ 院内感染等によりリハ業務が停止した場合、リハ職員は看護・介護のサポートに回った
- ・ 個別リハのみ実施した
- ・ 心リハ休止
- ・ 機能が高い方は終了
- ・ 訓練はなるべく病棟で行う
- ・ 小児の訓練休止
- ・ 透析室でのリハ休止
- ・ 回復期リハ病棟の閉鎖
- ・ 陽性患者にはリハビリはしない
- ・ デイケアスタッフと老健スタッフと交わらない
- ・ ショートステイのみ一時休止、一部制限した
- ・ 病院主催の講座を町の方針で中止
- ・ 訪問リハの休止
- ・ 利用者希望により一定期間の訪問キャンセルあり
- ・ 利用者へアンケート実施。介入不安の方は希望に応じて指導で対応
- ・ 訪問スタッフの専従化し、直行直帰とした
- ・ 通所リハの一時休止、オンライン対応、通所リハのみ休止
- ・ 自費利用分の通所者を制限した
- ・ デイケアは休止、訪問は継続
- ・ デイケアの利用者数を制限
- ・ 外来は午前・入院は午後にした
- ・ 入院患者と外来患者を時間帯・エリアで分けた
- ・ 入院患者と外来患者の時間分け
- ・ 通所者と入所者との時間の区別、通所利用者の人数制限
- ・ 通所者と入所者の区分
- ・ 入所・通所の完全区別
- ・ 併設施設職員との行き来制限
- ・ 関連事業所の兼務を禁止
- ・ 階段の移動を必要最小限に調整
- ・ 通所利用者を入所させる
- ・ 院内と訪問の兼務をやめ、訪問専従とした
- ・ 休日勤務を増やし平日勤務者を減らす
- ・ 病棟担当制にして病棟を横断しない
- ・ 病棟担当制に変更
- ・ スタッフごとに担当病棟を限定した
- ・ 面会、お見舞いを制限した
- ・ 外部からの施設内立ち入り制限
- ・ 玄関での検温実施
- ・ 玄関での検問(ゲートキーパーの常駐)
- ・ 接触確認アプリの使用を指示
- ・ 感染マニュアルの改訂
- ・ 布マスクの支給

#2. 「職員、患者の感染管理」についてのコメント

- ・フェイスシールド・ガウンは今は解除
- ・リハ利用人数制限、対象者の限定、入室人数制限
- ・訓練室で行う患者さんの人数制限
- ・リハ室入室人数制限、人数を減らし入場制限
- ・密を避けるため集団利用者の人数制限、布マスクの使用
- ・接触確認アプリへの登録
- ・控え室を2か所に分けた
- ・外来患者にはフェイスシールド装着
- ・次亜塩素酸ナトリウム液噴霧
- ・玄関での患者検温、患者にもマスク着用義務
- ・受付での検温、患者のマスク着用、
- ・フェイスシールド・ガウンの着用、ゴーグルの着用、手袋の着用
- ・勤務時間外の行動制限、WEB会議研修に変更
- ・訪問先家族と面会せず、自主トレ指導メイン
- ・物品の共用制限、外出制限、外部との接触制限
- ・ZOOM会議に変更した、WEB会議に変更、リモート会議に変更

#3. 「環境設定の工夫」についてのコメント

- ・待ち合いの分離
- ・午前午後に1回ずつ全員で清掃、換気
- ・受付パネル防御、室内の換気徹底
- ・デスク等の間隔を開けるなど
- ・職員控え室の換気
- ・換気の徹底、1時間おきの換気
- ・受付カウンターにアクリルパネル設置
- ・換気の徹底、デスク間にアクリルパネル
- ・ベッドレイアウトの変更、ベッドとベッドの間隔を開ける
- ・テーブルに密にならないようセッティング
- ・待ち合い時の車内待機をお願いした
- ・利用者間にアクリル板設置
- ・訓練室に空気清浄機を設置
- ・飛沫防止パネルの設置
- ・ベッドの間隔を開け、人数を制限した

#5. 「会議・研修会、土会事業等への出席禁止の指示」についてのコメント

- ・感染拡大エリアでの研修参加禁止
- ・部署内・院内研修も禁止、会議・内部研修の中止
- ・学会参加は日帰りで
- ・院内も禁止、施設内の研修会も禁止
- ・県内の感染状況によって判断
- ・県外への移動、外出を禁止
- ・医師会より宴会禁止令
- ・各自で判断し参加・不参加を決めるよう指示があった
- ・自主的な参加は禁止、原則禁止と言われた
- ・必要不可欠なものに限定、WEBを推奨
- ・感染拡大地域への自粛
- ・できるだけ控えるようにとの指示、なるべく行かないように指示、禁止ではない
- ・病院の判断を仰ぐ、院内諮問委員会への具申
- ・参加を自粛、なるべく自粛するように指示
- ・必要性に応じ相談、その都度相談、ケースバイケース

#6. 「実習生受け入れ、可能な条件」についてのコメント

- ・ 実習受け入れ人数の制限
- ・ 県内の養成校の学生のみ受け入れ
- ・ 実習中の行動制限、前2週間の行動制限
- ・ 実習前の行動確認・制限
- ・ 実習開始前2週間の行動自粛、行動履歴・検温・接触確認
- ・ 実習地までの移動は公共交通機関を利用しない学生を依頼する
- ・ 地元出身で自宅通いの学生に限定する
- ・ 県内の学生のみ受け入れ、実習前2週間の行動記録の提出
- ・ 感染予防に関する学校側の方針・対策の確認
- ・ 実習期間中に職員や家族にコロナ感染者が出ていないこと
- ・ 公共交通機関の利用を控える
- ・ 実習開始時期を遅らせる
- ・ 緊急事態宣言期間中は休止する
- ・ 第2波が来てから中止した

#7. 「士会、連盟、協会への要望」コメント

- ・ 研修によるとは思いますが、今後オンラインでの研修が主になるかと思えます。その際のシステム構築や補助など検討していただきたいと思えます。
- ・ オンラインセミナー視聴を増やして。研修会開催費用を「リハノメPT」以外のコンテンツ聴講ができるように配慮を。
- ・ 県士会もWEB開催をお願いしたい。
- ・ 県士会学会の開催時期も臨機応変に(今年の学会もコロナ禍ギリギリだった)。
- ・ 県士会の会議はリモートでできるようにしてほしい。
- ・ オンラインでの研修会の充実を。
- ・ オンライン研修会への移行、リハノメの継続。
- ・ 県士会の会議はリモートでできるようにしてほしい。
- ・ オンラインでの研修会の充実を。
- ・ 研修会はWEBで開催してください。
- ・ 専門・認定理学療法士試験をWEB開催にしてほしい。
- ・ 県士会の各活動の話し合いにリモート会議ができるようにしてほしい。
- ・ 実習指導者会議のあり方について見直していただきたい。
- ・ 基本的にリモート又はネット会議で終わらせていただきたい。
- ・ グループワークで複数人がディスカッションするような内容はやめていただきたい。
- ・ 協会会員の皆様も大変なことと思えます。これを機に様々な見直しのできることをじっくり考えて、変えていけると良いと思えます。
- ・ リハノメはたいへん良いと思うので、ぜひ県士会として契約して欲しい。実習指導者講習を他県のようにオンラインで行ってほしい。また他の研修や学会もオンライン化を検討して欲しい。
- ・ 集まっての講習会等は行いにくく、一層オンラインでの教育コンテンツを増やしてほしい。この期間の学生たちは通常の教育課程を受けられていないため、卒後教育にも注力して欲しい。
- ・ オンラインでの研修は今まで遠方のため行けないこともあったが、増やしていただきたい。
- ・ 気楽に参加のできるセミナーを行っていただきたいです。体に気を付けお互いに頑張りましょう。
- ・ 勉強会や認定講習の参加が難しいため、オンラインでの講習が増えると嬉しい。
- ・ 中止・延期となっている研修会について、再開を検討して欲しい。
- ・ 臨床実習指導者会議のオンライン化を。多くの施設が集まることのリスクが高く不安です。
- ・ 現場の裁量で判断することはメリットがある反面、なにか実習生に事故があった場合、養成校が矢面に立つことになりかねない。カリキュラム上、臨床実習は欠かせないものであるのだから、事故が起きる前に対策は続けなくてはならないと感じる。本年は「緊急事態」で良いと思うが、今後、次の有事に備える努力が必要だと感じる。今のところ学生に感染・死亡という事態が起きていないことに感謝する。
- ・ 臨床実習期間も短くなっており学生(教育現場)にシワ寄せが来ている。受け入れ先実習病院も少なくなっているよう。協会としても教育現場への対策を。

- ・ 実習生は公共の乗り物を利用する→職員はマイカーや自転車通勤のため、受け入れに不安。実習生を受け入れ感染が起きたら、そのリスクに対しどう対応したらよいのか分からない。
- ・ 他職種はリハビリの特性をよく知らないので経営者や医師等は少しずれた指示をしてくる。そこを踏まえた指針を作成して欲しい。またそれを他職種に周知して欲しい。
- ・ 「施設系」医療介護提供体制は国やメディアで大きく取り上げられているが、「訪問系」医療介護提供体制については国レベルでの対策が十分ではないと思います。具体的なガイドラインを提示して欲しいと思う。
- ・ 保健所からの指示では『PTとコロナ感染者が個別訓練をしてもお互いにマスクを装着していれば濃厚接触には当たらない』としてPCR検査は受けられませんでした。身内に老人・子どもがいる場合不安なので、PCR検査を受けられる体制を作って欲しい。
- ・ 国・県のコロナウイルス患者対応職種にリハビリ職種は想定されていませんでした。職能団体としてリハビリ職の対応の必要性が中等症、重症患者にも有することを訴えていただきたい。県医療整備課はコロナ感染患者対応職員助成事業のなかでリハビリ職を除外していました。
- ・ 今後、施設内でコロナ感染者が出た場合の一番の心配は「風評被害」です。田舎ほど風評が強いので心配です。その対策も検討していただくとありがたい。
- ・ 今後あらゆる医療機関の経営が厳しくなる。国への支援の働きかけがあるとありがたい。
- ・ 協会が考える、今後のコロナ対策についての見通しが知りたい。
- ・ コロナウイルス感染又は濃厚接触に伴う休業要請時の給与保障(保険)を。
- ・ コロナ禍により給与・ボーナスカットへの対応をしてほしい！
- ・ 収入が減った従事者への経済的支援。
- ・ 収益減少のため賞与に影響が出ています。会費の値下げや一部返金など考えてほしい。
- ・ 今年の年会費はコロナ対策に使ったほうが皆さん納得がいくのではないのでしょうか。
- ・ 県士会、協会が推奨する感染防止マニュアルの提示。
- ・ ICTの活用における支援や社会参加。ICTが地域で活躍できる場を検討していただきたい。(ICT:Infection Control Team 感染コントロールチーム)
- ・ インターネットなどで対策などの方法を流していただきありがとうございます
- ・ 他施設がどのような対策をしているのか(マニュアルなど)、実施状況を情報として教えてほしい。
- ・ 実際に起こった感染者への接触、リハビリ、環境対策などの事例、方法を教えてほしい。
- ・ 何か役立つ情報があれば提供していただきたい。
- ・ COVID-19患者へのリハビリの介入方法、個人防御具の着脱訓練等の機会を考えてほしい。
- ・ 県内での具体的対応など、情報発信と周知をお願いします。
- ・ 協会からの指示はなかった。対策方法や消毒など指針や模範があればよかった。
- ・ 情報提供、基準やガイドライン整備など助かりました。今後もよろしく願いいたします。
- ・ 医師会や看護協会は各施設にマスクを配布したそうです。PT協会からもそうした支援(物資の支給や対応整備)があると良いと思います。
- ・ 感染ピーク時の物資の提供を考えてほしい。
- ・ 今年は学会などの中止が多いので、協会としてもマスクや消毒液の提供・支給があっても良いのではないかと思う。

アンケートにご協力ありがとうございました。